

広報たかなべ

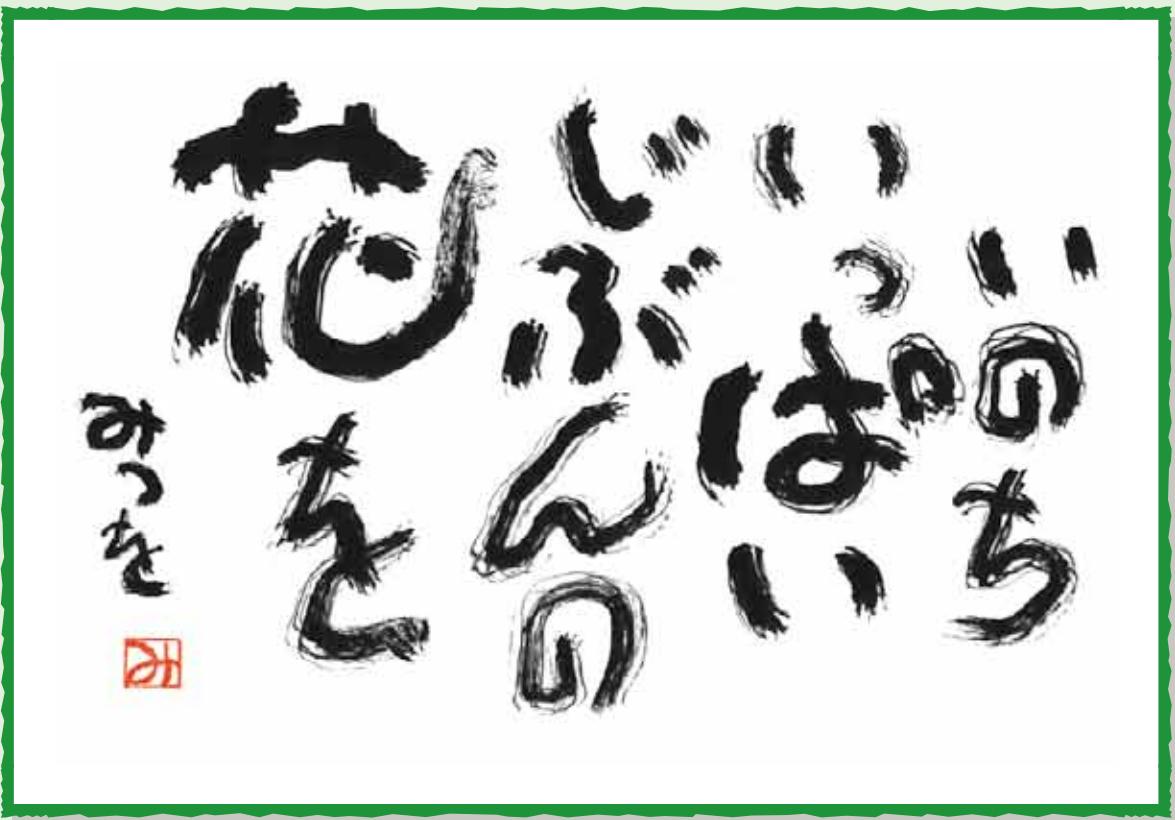
2015. 7. 11 NO. 395

高鍋町美術館 戦後70年特別展

いのちの詩 こころの書

相田みつを展

平成27年7月18日(土) ▶ 8月30日(日)



いのちいっぱい 1991年

【目次】

- ・防災特集 災害から身を守る
- ・第62回 高鍋町消防操法大会
- ・社会保障・税番号(マイナンバー)制度が始まります
- ・「RVパーク高鍋温泉めいりんの湯」が開設されました
- ・平成27年度 高鍋町新規採用職員を紹介します！
- ・ヤンバルトサカヤスデの発生にご注意を！
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物

- 開館時間…午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日…毎週月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)
- 観覧料…大人700円(600円)、
小中高生・高齢者・障がい者400円(300円)
※()は団体料金(20名以上)および前売り料金。
※高齢者料金は70歳以上、障がい者料金は障害者手帳所持者
とその介護者1名まで。未就学児は無料。
- 会場…高鍋町美術館
- 初日限定ギャラリートーク(観覧券が必要)
ご予約の目から見た作品の背景やエピソードをお話いただきます。
日 時…7月18日(土) ①午前11時 ②午後2時(各回約20分)
会 場…高鍋町美術館企画展示室
講 師…相田一人氏(相田みつを美術館館長)

災害から身を守る



地震や台風、大雨などの自然災害は、毎年、各地で大きな被害をもたらしています。このような自然災害から自分の身の安全を守るために、日ごろから防災対策をしておくことが大切です。

防災への取り組み

訓練に参加して学ぶ

県高鍋土木事務所と合同で行われた松本地区の防災訓練では、地区住民56人が参加。参加者は避難経路を確認しながら、避難場所となる公民館まで避難を行いました。

公民館では、県砂防ボランティア協会の方による講演が行われ、参加者は、土砂災害の映像や画像を交えながら災害の恐ろしさと防災の大切さを学びました。協会の増田茂司さんは、洪水警報や土砂災害警戒情報などを得たら、早めに避難を行うことが命を守ることにつなが

ます。また、防災意識や知識の向上を図るため、5月24日には「宮崎県防災の日」に合わせて津波避難訓練を、6月7日には、県の土砂災害警戒区域に指定されている松本地区で、台風や集中豪雨などによる土砂災害を想定した防災訓練を行いました。

ハザードマップを使おう

町では、地震や津波、洪水などの災害対策に活用できるよう、ハザードマップを作成し、各家庭に配布しています。

マップには、災害時におけるべき行動や事前の対策など、重要な情報が分かりやすく掲載されています。「いざ」という時に、迅速に避難するための注意点を確認することができます。

日ごろから家族や地域の皆さんとマップを活用して、災害時の心がけを話し合いましょう。

ると話し、「日ごろの備えと早めの避難」を呼び掛けました。この日、訓練に参加した田中秀男さんは、「今日の訓練に参加するまで、土砂災害のことを簡単な自然災害。そのような災害から身を守るために、日ごろから災害に対する備えが大切です。

消防車両の配備や防災設備が充実しました

町では、昨年度、新田原飛行場周辺消防施設設置助成事業補助金を活用して消防車を購入しました。また、平成25年度から2年間かけて防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用して防災設備の整備を行いました。

【新田原飛行場周辺消防施設設置助成事業】
整備事業（平成26年度）
▲購入費用 約1868万円
●遠隔制御装置
●消防ポンプ自動車（1台）

【防衛施設周辺民生安定施設整備事業（平成26年度）】
▲竣工費 約8958万円
●再送信子局（新山公民館）
●屋外拡声子局（9局）
●戸別受信機（400台）
(役場本庁舎宿直室)

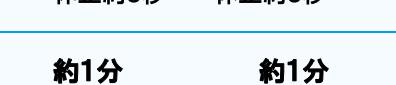
これらの整備により、災害時の情報伝達の迅速化や防災体制の強化を図ることができました。



◆お問い合わせ

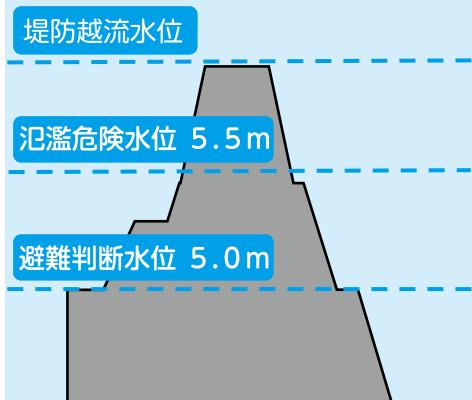
総務課 危機管理担当 TEL：26-2022

防災情報収集の手段として、町から発信されるもの以外にもテレビやラジオ、インターネットがありますが、大災害のときは停電の可能性が高く、情報を得ることが困難になることもあります。そのような場合、町では、サイレンによる防災信号を送り避難を呼びかけます。

| 防災信号 | | 避難情報 |
|--------|---|--|
| 区分 | サイレン | |
| 避難準備情報 | <p>サイレン</p>  | <p>早めの段階で避難行動を開始するよう呼び掛ける</p> <p>住民に対して避難準備を呼び掛けるとともに避難が困難な方に早めの避難行動を求める。</p> |
| 避難勧告 | <p>サイレン</p>  | <p>災害によって被害が予想される地域の住民に対して避難を勧める</p> <p>人的な被害が発生する可能性が明らかに高まった場合に発令します。</p> |
| 避難指示 | <p>サイレン</p>  | <p>ただちに避難行動を開始！</p> <p>避難勧告よりも強く避難を求める</p> <p>人的な被害が発生する危険性が非常に高まった場合に発令します。</p> |

小丸川避難基準水位が設定されました

避難勧告等の発令判断の目安であり、住民の避難判断の参考となる「避難基準水位」が4月から新たに設定されました。



避難指示を発令する目安

堤防から水があふれたり。決壊するなど被害の危険が目前に切迫している場合。または、氾濫発生情報が発表された場合。

避難勧告等を発令する目安

町に大雨・洪水警報が発表され、小丸川の小丸大橋水位観測所の水位が氾濫危険水位5.5mに達した場合。

避難準備情報を発令する目安

町に大雨・洪水警報が発表され、小丸川の小丸大橋水位観測所の水位が避難判断水位5.0mに達した場合。または、氾濫危険水位5.5mに達すると予測された場合。

防災情報配信システム・SOSネットワークの登録を募集しています

町では、個人のパソコンや携帯電話に防災や気象に関する情報を配信しています。また「SOSネットワーク」では防犯情報や捜索情報を配信しています。

詳くは、登録サト：町本一／ページをご覧ください。

パソコン用登録サイト <https://service.sugumail.com/takanabe/member/>

<https://service.sugumail.com/takanabe/>
<https://service.sugumail.com/takanabe/>

<https://service.suganmai.com/takanabe>
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp/>



◀ このQRコードで登録
画面へアクセスでき
ます。

【取材を終えて】
全国各地で大きな自然災害が発生していますが、高鍋町では、昨年の集中豪雨による浸水被害以降は、幸い大きな自然災害は発生していません。しかし、これから本格的な台風シーズンを迎えます。台風だけでなく、すべての自然災害から身を守るには、やはり「備え」しかありません。大切な命を守るためにもしものときの行動マニュアルを日ごろから確認しておきましょう。



昨年度、環境省の「地域グリーンニューディール基金」を活用し、指定避難所である高鍋町中央公民館の屋上にリチウムイオン蓄電池30キロワットと充電用太陽光パネル20キロワットを設置しました。

通常時は、太陽光発電システムとして館内の電力を供給しますが、災害などによる停電時には太陽光発電と蓄電池を活用して、非常照明やテレビなどに必要な電力を供給することができます。

高鍋町中央公民館へ 防災型蓄電池システム導入

第62回高鍋町消防操法大会

6月28日、高鍋町スポーツセンター駐車場で高鍋町消防操法大会が行われました。町民の生命と財産を守るために、安全、確実、迅速な消防活動を目指し、団員一丸となって訓練を重ね、その成果を競いました。梅雨の晴れ間が広がる絶好のコンディションの中で行われた大会では、団員たちは数ヶ月間にわたり懸命に訓練してきた成果を発揮し、気迫に満ちた競技を行いました。優勝した各部は、7月18日に行われる東児湯支部大会での優勝を目指し、さらに訓練に励んでいます。

※各部門の成績は次のとおりです。



正確に1秒でも早く火点に向けて放水する消防団員

第2位 第3部



ポンプ自動車の部 優勝 第4部

指揮者 今村 武義

1番員 野田 隆成
2番員 島子 刚史
3番員 岩崎 青哉
4番員 江崎 亮祐

第2位 第2部



小型ポンプの部 優勝 第9部

指揮者 大井 恵太

1番員 谷口 陽太
2番員 藤原 鉄也
3番員 押川 拓矢

第2位 第11部



小型ポンプ積載車の部 優勝 第7部

指揮者 那須 浩幸

1番員 大原 誠
2番員 山本 勇樹
3番員 篠原 信明

東児湯支部大会へ向けての意気込みを各部長に聞きました！

第4部 今村部長

これから支部大会の優勝に向けて、さらに訓練に励みたいと思います！

第7部 那須部長
支部大会でも優勝旗を持って帰れるよう、団員一丸となつて頑張ります！

第9部 大井部長

高鍋町消防団の活躍を期待しています！

